



二人の絆から生まれる仕事

## ～ミヤサイ～ 宮田毅さん 裕美さん

京都府福知山市中六人部在住  
農家「ミヤサイ」  
2013年福知山に移住 農業を始める。

宅配販売をしています！  
<http://miyasai.com>



Q

### 移住のきっかけは？

—（毅さん）生まれてからずっと都会暮らし。大阪で働いていたとき、人生を変えたいと思っていました。もともと田舎で暮らしたいという気持ちもあり、野菜販売にも京阪神へのアクセスがよい場所でたまたま畑つきの家が見つかり、里山の情景もいいのでここに移住を決意しました。妻が移住を後押ししてくれたおかげでもあります。

A

正直、  
“たまたま”でした。

Q

### 現在の暮らしは？

—（毅さん）田舎では、時間がゆっくり流れるのだろうなと思っていましたが、毎日やる事が多く、時間が足りないくらいです。5反の田畑で作物を育て、自然と向きあって暮らすのは厳しいことも多いですが、人間らしい日々を過ごせており、ストレスは全くないんです！

（裕美さん）地域が密着しているなと感じました。人と人との距離が近く、何かあったら周りの方たちが助けてくださいます！

A

ストレスのない生活を送っています！

### ミヤサイさんの日常





## これからやってみたいこと

—（裕美さん）福知山市の新町商店街では、毎月第4日曜日に「福知山ワンダーマーケット」というイベントが開催されており、ミヤサイも実行委員としてイベント運営と出店を行っています。  
これからは、新町商店街の空き店舗などを利用してミヤサイの野菜を使った料理などを提供するカフェをしてみたいです。そこで一緒に野菜やみそ、梅干し、ハーブティーを販売するなど、やりたいことはたくさんあります。



## ミヤサイが目指すこと

—（裕美さん）私たちミヤサイは、“百姓”を目指して日々の暮らしを送っています。  
百姓は、百の仕事をしてこそ百姓といわれています。百姓になるにはまだまだですが、これから自分たちで何でもできるように、毎日たくさんの仕事に取り組んでいます。



## 編集長感想（福知山公立大学地域経営学部二年生） 井上麻実・高瀬樹

—ミヤサイさんの取材では、夫婦の絆の強さを強く感じました。「どちらか一人が欠けたらミヤサイではない。二人だからこそミヤサイなのだ」というお二人をととても尊敬します。  
取材にご協力いただいたミヤサイさん、本当にありがとうございました。

